

意見交換会	
テーマ	要点記載
介護事業	市民：総合事業や地域支援事業が介護に入札になること積み重ねが無くなってしまうのではという懸念について、どのように考えているかお伺いしたい。 鎌田議員：随意契約のガイドラインに基づくと、原則的に入札やプロポーザルが行われる必要があり、あくまでも例外的に随意契約があります。随意契約を行う場合、その随意契約を行わなければならない理由を記載する必要がありますが、それが不適切な理由であれば見直す必要があると考えております。 菅原議員：現場の状況などにも配慮しながら適切な評価指標を検討していく必要があると考えます。
通学	市民：西大和団地においては、目の前が広沢小学校であるのに、第四小学校に通学しなければならない。これについてどのようなことを考えているのか。 片山議員：小学校の学区については、人数なども考えながら、調整されているけれどもそのような意見にも検討を考えなければならない。
自然環境	市民：緑を守るためにどのように行うことができるか。雨水が地面から出る場合もあるので、ぜひ緑を守ってほしい。また、新倉の方については宅地が当初は建たなかったところに作られているのではと思い、心配です。 赤松議員：雨水が地下水となって、河川に流れるものが、土地の開発などにより、地下水とならず、そのまま雨水が河川に行くことで、水害が大きくなったりする傾向がある。 片山議員：立地適正化計画により水害などのリスクを考えて、コンパクトシティ化を目指している。現在住んでいる方もいらっしゃいますが、長期的には、コンパクトシティを目指して、水害などのリスクに備えていく方向性です。 菅原議員：子育て世帯の施策を行って、転入者が多くても、家がないと住めないのも、開発などもそのようなことを考える必要がある。 市民：緑を守っていくためにも、緑の募金などについても市役所に目立つようにするなど工夫も検討があるのではないかと。
議会運営	市民：3月定例会における退席について、どのように考えているのか。本来であれば、議論を行うことが重要なのではないかと。 内山議員：3月定例会は予算を議論する重要な議会であるという認識はあるものの、今の体制が執行部がこのまま変わらないのではないかと思います。退席した議員は市民のために議論をしなければいけないという思いは共通しております。このまま変わらない執行部では良くないと思いこのように至ったところをご理解いただきたい。 伊藤議員：全員協議会でコミュニケーションを行おうとしたけれども、市長が途中で退座されたという経緯もあるんです。 鎌田議員：私自身も退席したというのもできる限り対立ではなく、市民サービスが必要なのではないかと考えて活動しているものの、苦渋の判断で退席した。12月議会でもどのように経緯があったかという、キャッシュカードでの横領の事件で和解が行われることが議案として挙がってきた。和解を行うその時には、4千数百万円を市民の税金で賠償しなければならないということになります。横領したお金を市民の税金で支払うのであるのだから、その場合には市民説明をしなければいけないという思いで、交渉をしていたが、交渉の場が持たれず、やむを得ずに退席したということになります。 市民：和をもって貴しとするのが前提というのは、民主主義にそぐわない。議員にも表現の自由がある。一人一人表現の自由がある中で、議員のボイコットと言われて、何か悪いもののように言われているけれども、そういう考えだけで、民主主義はできないんじゃないかなと思います。 吉田活世議員：今まで色々な方のご意見を聞いて、感慨深いです。ご意見をいただきありがとうございます。共産党としては予算を話し合う場で退席するのは言語同断であるという事柄であると考えております。皆さんの考え方は正しい考えだと思っております。退席をしたのは間違いではなかったと考える議員がいるのも信念をもっていているというのはそれなりの主張とか今も長く長く尾を引いている問題なので、私自身も複雑な気持ちでおります。今日一言言っていたいただいてありがとうございます。 菅原議員：私自身は聞くに早く、一連の決議については、当日聞いたのみであった。 松永議員：私も退席した議員の一人です。市長と話をしたいと求めたところ、市長が途中で退席をされて、それ以上はもうお話がないというのも事実であります。また今回9件の追認議案の何度も何度も再発防止のチェック体制についても、市民の方に採決に際しても執行部が議員を囲んで、最終日に賛成に回れというのも、追認の議案について反対した議員の一人でございます。本日はご参加いただきましてありがとうございます。

謝辞	萩原議員:土曜日のお休みの場に、市政について、いただきましてありがとうございます。国政については、ニュースが流れるのは関心を持ってもらえるのですが、なかなか市政に関心を持ってもらえることは少ないので、本日はきていただきましてありがとうございます。 赤松議員:和光市は、市民参加条例もあって、いろいろな意見があることがよいですね。だから本日のような件がありまして良かったです。 伊藤議員:本日は本音で話せたようで、意見をぶつけ合えるということは素晴らしいことだと思います。市民に参加いただける和光市になるように努力していきたいと思います。本日はありがとうございました。
-----------	--